



吉村 180

時氣多変換之文天
候不定其處

逾而健勝國家の爲め

を欣賀其述も鴨綠

渡河大戦の捷報を

得て後歸縣すべく

存く處機の熟せざる

にや未く快報に接せず

然るに鹿島の方時局

に關する事件その小生

の歸來を要し趣

に關する事件を以て
の歸來を要し趣
に付近日中より出發歸
途に上り其事を決定
仕を就ては其前告別
の爲め奉 upper 可仕勿論
今後の事を付ての高
祝を聴致し事件
一にしく足らす
出發期に近づき儀
匆忙に相成る分關
禮仕り事と存り此
段に斷り申上り
直映君之前途の諸
事厚くの差合に被
下間接に以輔佐相成

事厚く、口差合に被
下間接に、輔佐相成
度懇願仕り、是きい生
宗家に盡すの形誠
たること、亦諒察禮儀
度時下、萬々國家
の為の、所自愛あるん
こふことを、請ふ、折首

四月廿八日

直彬

大隈仁兄研北